

シンポジウム

難民問題の 過去と現在

2023

11/3

[金・祝]

13:30-16:30 [開場 13:00]

新宿住友スカイルーム Room5+6

(東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 47 階)



朗読劇

とぎれた日記

2023

11/

5 [日] 11 [土] 12 [日]

各日 14:00-15:15

平和祈念展示資料館 ビデオシアター

宮沢賢治作の戯曲や小川未明作の童話などをモチーフにした朗読劇を上演します。孫との交流をきっかけに元教師が忘れていた戦争に関する“ある”記憶を思い起こす…来年、創立 80 周年を迎える劇団俳優座の制作による新作朗読劇です。



1945年8月15日、当時海外に暮らしていた一般邦人は、日本の敗戦によって彼らの後ろ盾となるすべてを失います。100万人あまりの人々が満州や朝鮮北部に「難民」状態で取り残されました。あれから 78 年。現在、紛争や迫害によって故郷を追われた人は約 1 億人といわれます。かつて引揚者が味わった塗炭の苦しみが、今もウクライナをはじめ世界中で繰り返されています。本シンポジウムでは、過去と現在の難民問題をとりあげ、3人の専門家がそれぞれの研究分野から論じます。

難民問題の過去と現在

11月3日(金・祝) 13:30~16:30 [開場 13:00] / 会場：新宿住友ビル 47階 スカイルーム Room5+6

プログラム (第1部と第2部の間に15分の休憩が入ります)

01 13:30-15:00

基調講演「難民問題の視点から満洲引揚げを考える」

加藤聖文(人間文化研究機構国文学研究資料館/総合研究大学院大学 准教授)

基調講演「世界と日本の難民問題 ~人道と政治のはざままで~」

滝澤三郎(東洋英和女学院大学名誉教授/ケア・インターナショナル・ジャパン副理事長)

02 15:15-16:30

座談会「過去と現在からみる難民問題」

滝澤三郎、井上卓弥(公益財団法人安達峰一郎記念財団理事/ジャーナリスト) 進行：加藤聖文



加藤聖文



滝澤三郎



井上卓弥

参加申込み方法 (定員130名)

※ 下記の方法で事前にお申し込みください。

シンポジウム事務局より参加証をお送りします。入場の際は参加証をご提示ください。

※ 応募者多数の場合は抽選となります。シンポジウム開催の1週間前までに抽選結果をご連絡いたします。

▶ フォームによる申し込み

下記QRコードよりお申し込みください。



▶ 葉書またはメールによる申込み

- ①郵便番号・住所 ②参加者の氏名・年齢 ③電話番号
④同伴者の氏名・年齢(1名まで、不在の場合は記載不要)
⑤車椅子利用の有無

をご記入のうえ、下記の宛先にお送りください。

宛先 〒164-0011 東京都中野区中央2-37-6 第7新栄ビル2階
平和祈念展示資料館 シンポジウム事務局

メール宛先 sympo2023@heiwakinen-event.jp

申込期日

10月18日(水)
必着

※ お預かりしました個人情報は当館が責任をもって管理し、シンポジウムのご連絡以外の目的には利用いたしません。

朗読劇

とぎれた日記

参加申込み不要

※ 先着入場順で定員になり次第、ご案内を終了いたします。

11月5日(日)、11日(土)、12日(日) 各日 14:00~15:15 / 会場：新宿住友ビル 33階 平和祈念展示資料館 ビデオシアター



岩崎加根子



平田朝音



坪井木の実

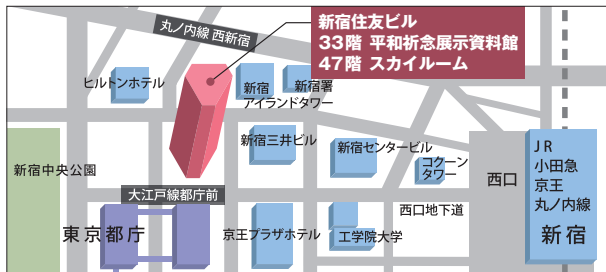


近藤万里愛

出演 岩崎加根子、平田朝音、坪井木の実、近藤万里愛
原作 小川未明「野ばら」、宮沢賢治「バナナン將軍」(飢餓陣営より)、
杉みき子「祈りの橋」(『小さな町の風景』所収)
脚本・構成・演出 平田朝音(劇団俳優座)
作曲 太江友城
プロデュース 小池達也(劇団俳優座)
制作 劇団俳優座

シンポジウムと朗読劇に関する
お問い合わせ

平和祈念展示資料館
Tel : 03-5323-8709
Fax : 03-5323-8714
e-mail : info@heiwakinen.jp



- 都営大江戸線「都庁前」駅
A6出口より徒歩約1分
- 東京メトロ丸ノ内線
「西新宿」駅より徒歩約5分
- JR線、小田急線、京王線
「新宿」駅西口より徒歩約10分